



平成 18 年 10 月 26 日

各 位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成 18 年 12 月期第 3 四半期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 9 月 30 日まで)業績の概況について

株式会社アルプス技研の平成 18 年 12 月期第 3 四半期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 9 月 30 日まで)の業績の概況につきまして下記ご説明申し上げます。

【Ⅰ】連結業績

(1) 連結業績の主要数値

売 上 高	160億5,400万円	(前年同期比	8億6,600万円増、	5.7%増)
営 業 利 益	9億7,500 "	(同	7,100万円減、	6.8%減)
経 常 利 益	9億3,000 "	(同	1億3,900万円減、	13.1%減)
第 3 四 半 期 純 利 益	3億3,900 "	(同	2億7,800万円減、	45.0%減)

(2) 連結事業のセグメント別売上

アウトソーシングサービス事業	154億8,200万円	(前年同期比	12億3,500万円増、	8.7%増)
そ の 他 事 業	5億7,200 "	(同	3億6,900万円減、	39.2%減)

技術者派遣事業を主流とします「アウトソーシングサービス事業」は、昨年に引き続き顧客からの強いニーズを背景として前年同期より8.7%増の売上状況になっており、総売上高の96.4%(前年同期は93.8%)を占めるようになりました。

利益面では、中間期(平成 18 年 1 月 1 日から平成 18 年 6 月 30 日まで)において赤字となっていました業務系ソフト開発子会社は7月以降黒字基調(7~9 月は売上高1億8,300万円、経常利益2,700万円)となってまいりましたが、中間期の赤字を埋め合わせるには至りませんでした。また前年度に高水準の受注を確保した台湾の子会社も受注状況が上向いてまいりました(7~9 月の売上高は前年同期比43.0%増、経常利益は同64.3%増)が、9ヶ月累計では前年同期を上回る利益を計上することができませんでした。このため、連結営業利益は6.8%の減益、経常利益においては持分法適用会社に対する投資損失(6,100万円、前年同期は利益400万円)の影響を受け、13.1%の減益となっています。第3四半期純利益は、中間期において所有不動産に対する減損損失(1億9,300万円)を計上しました結果、45.0%の減益になっています。

【Ⅱ】個別(アルプス技研)業績

(1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値

売 上 高	135億1,000万円	(前年同期比	7億8,500万円増、	6.2%増)
営 業 利 益	9億1,300 "	(同	2,300万円増、	2.5%増)
経 常 利 益	9億6,600 "	(同	3,100万円増、	3.3%増)
第 3 四 半 期 純 利 益	4億2,600 "	(同	1億1,900万円減、	21.9%減)

(2) 個別(アルプス技研)事業のセグメント別売上

アウトソーシングサービス事業	131億1,000万円	(前年同期比	10億9,800万円増、	9.1%増)
そ の 他 事 業	3億9,900 "	(同	3億1,300万円減、	43.9%減)

アルプス技研個別の第3四半期業績は、増収(6.2%)・増益(経常利益3.3%)になっております。主たる事業であります「アウトソーシングサービス事業」のうちの技術者派遣事業売上高は109億7,200万円(前年同期比15億8,800万円増、16.9%増)となっており、総売上高の81.2%(前年同期は73.7%)を占めております。

株式会社 アルプス技研

利益面では来期以降の成長に備えた海外事業や新規事業(介護ビジネス)開始等に伴う経費が増加し、販管費は前年同期比2億500万円増、9.6%増となりましたが、営業利益は2.5%、経常利益は3.3%の増益となっています。しかしながら減損損失の計上(1億7,900万円)によって、第3四半期純利益は21.9%の減益になっています。

(3) 「アウトソーシングサービス事業」売上上位100社(総売上合計の76.5%)による主要業種別売上高構成

	売上高	前年同期比	構成比	[前年同期]
自動車関連(含む部品、ナビ・オーディオ)	31億7,100万円	+7.2%	30.7%	[30.3%]
家電	12億6,500 "	△4.9%	12.2%	[13.6%]
精密機器	25億4,300 "	+14.3%	24.6%	[22.8%]
半導体関連(含む製造装置)	8億2,700 "	+59.4%	8.0%	[5.3%]
ソフト開発	4億9,400 "	△27.9%	4.8%	[7.0%]
携帯電話	4億1,000 "	+19.3%	4.0%	[3.5%]
通信関係(機器及びシステム)	3億5,500 "	+18.2%	3.4%	[3.1%]
上記以外(航空、機械、電池他)	12億7,300 "	△8.3%	12.3%	[14.4%]
100社合計	103億4,100 "	+6.0%	100.0%	[100.0%]

「アウトソーシングサービス事業」におきましては、自動車関連、家電、精密機器メーカーに対する売上高は67.5%(前年同期66.7%)を占める状況になっています。

(4) 派遣稼働率、派遣稼働工数、派遣単価

	平成18年第3四半期	平成17年第3四半期
派遣稼働率	94.7%	94.5%
派遣稼働工数	179.3H/月	179.2H/月
派遣単価	3,473円/H	3,287円/H

派遣事業は稼働率、稼働工数ともに前年同期並みですが、単価は+186円/H、+5.7%になっています。

【Ⅲ】 その他

技術者の採用活動は経済環境等の背景から例年とは異なる状況にありますが、中国の2大学(青島科技大学、中国石油大学)との提携によって、この9月には青島科技大学から第2期生として43名が当社に入社しました。現在当社において再度教育を行ったうえで日本のメーカーに派遣する予定で、本格的に当社業績に寄与するのは来年からとなります。

以上